

消えずの火

灯火台デザインスタディ



マツダ・広島市立大学芸術学部共創ゼミ

2021

「消えずの火」

希望の光

瀬戸内に抱かれた、この地を照らす光
1200年の間、一瞬も、一時も、途絶えることなく
人々を見守り、その未来を照らした

辛い時も、苦しい時も、人が「心」に火を灯し、
共に支え合って生きられるよう
未知のウイルスと生きる、
「今」という時がどんなに困難でも、

支え合って生き、人々の心の火を灯し続けたい

次の100年も、次の1000年も
人々を照らす「希望」になってほしい

そんな想いを込めて、広島市立大学芸術学部の学生が

弥山霊火堂「消えずの火」

灯台デザインに挑戦しました。



マツダ・広島市立大学芸術学部共創ゼミ 2021



弥山霊火堂視察（2021年 4月）



インダストリアルクレイモデルによる造形検討（広島市立大学芸術学部 3Dスタジオ）

広島が日本の誇れるモノづくりの拠点となることを目指し、2017年からマツダと広島市立大学との共創ゼミが開講されました。5年目となる本年度では、宮島弥山大本山大聖院様のご協力の下、弥山霊歌火堂「消えずの火」灯台のデザインを課題として、学生と共にモノづくりを高め合う機会を得ることができました。様々な気づきと発想がありました。コロナ禍の中、ゼミを続けることが困難な状況が幾度となくありましたが、今年度は8名の学生が強く想いを抱き、最後まで粘り強く作品を作りきってくれました。